【マレーシア】

1-2 月の市場動向トピックス

- 2021年 1 月の訪日マレーシア人数は、前年同月比 99.6%減の 200 人であった。
- 2021年 2 月の訪日マレーシア人数は、前年同月比 99.7%減の 70 人であった。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本政府による上陸拒否、14 日間の隔離・PCR 検査受診等、査証の効力停止等の対象となっている。また、国際的な人の往来再開に向けた段階的措置として、2020 年 9 月 8 日から「レジデンストラック」が運用されていたが、2021 年 1 月 14 日以降、緊急事態解除宣言が発せられるまでの間は運用が停止されており、マレーシア政府から出された活動制限令により出国禁止が継続されている。自国民の日本からの入国については、マレーシアへの出発 3 日前にスワブ検査受検を条件に政府指定施設での 10 日間の隔離と入国時、隔離終了前の PCR 検査受診が義務付けられている。

1-2 月の主なプロモーション活動

- JNTO マレーシアサイトにおいて 1 月 25 日～3 月 11 日までマレーシア人を対象としたオンラインキャンペーン第三弾（最終回）を実施。キャンペーンテーマを「PICK & CREATE Your Own Hokkaido Trip!」と設定して、あらかじめ設定された簡単な3つの選択肢から希望の項目を選ぶと自動的にピッタリな北海道の旅行のスタイルを提案することで、日本の認知度向上を図り、将来の訪日旅行の拡大を目的としたプロモーションを展開した。

JNTO マレーシアサイト・キャンペーンページ

モデルコース紹介ページ

- マレーシア市場において、1 月 13 日（クアラルンプール）、1 月 19 日（ペナン・ジョホールバル）に現地旅行会社等を対象としたオンライン訪日旅行セミナー・商談会を開催した。本年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、初めてオンライン会議システムを利用した形態での開催となり、現地旅行会社との情報共有、ネットワーキングを図ることで、将来の訪日旅行の回復に向けて情報交換を行った。

オンライン商談会

クアラルンプール事務所　丸山所長ご挨拶